

被災地支援 子どもたちに本を届ける

山 川 喜美子

私たちは、日頃子どもに本を手渡す活動をしている。子どもたちは、様々な本と出会い笑顔になったり、落ち込んだり、くるくると表情が変化していく。その表情をみながら、一緒に本の世界を共有し、楽しんでいる。

そんな子どもたちの楽しい時間が、2011.3.11 東日本大震災であつというまに消えてしまいました。

それから日を置かずに、宮城県の友人より被災地に子どもの本を届けに行った時の様子を伺いました。「最初はね、子どもたちは無表情で本に関心をしめさなかったの。本を読み進めるにつれて、表情が生き生きと変わり、また来て読んで欲しいといわれたのよ」「本の力を改めて感じた」と嬉しそうに報告してくれました。

私たちは、深い悲しみや苦しみを抱える被災地の子どもたちに、もう一度本の力を信じて届けてあげたいと考えました。

さて、どの様な形で本を届けようかと思案していた所、私たち文庫の上部団体である親子読書地域文庫全国連絡会（通称・親地連）が、9月に東京で行われる全国交流集会で被災地支援について話し合うとの情報が入りました。

早速、9月24日、25日に開催された第18回全国交流集會に参加しました。

今回は、会設立40周年という節目の大会に当たり、「子ども・本・人をつないで」をテーマに、読書の場を作るだけではなく、人と人

との関わりを育てていけるという共通した認識を持って活動することを誓いました。

被災地支援について話し合われたことを①～⑤にまとめてみました。

① 情報を知ること

正確な情報の収集をする。それによって求めているものを手渡すことが出来る。

② 私たちができる支援活動

支援活動を一過性の活動で終わらせない。継続することが大事であるとの意思確認をする。物だけではなく、精神的にもサポートしていく必要がある。現地での活動は、支援活動をしている子どもの本のネットワークに打診して行う。義援金を送ることも一つの方法である。

③ 支援物資

「みやぎ子どもの文化を支援する会」によると、絵本、紙芝居、紙芝居舞台、おもちゃなどの要望があるそうです。

④ それぞれの支援活動の報告

○親地連・・・全国の会員より集まった義援金は、被災地で活動するこどもの本に関わる団体へ贈る。本、人の派遣。

○仙台の支援グループ・・・本の寄贈と共に日本図書館協会の協力を受け、幼・小・保の子どもたちに読み聞かせをした。

- 北海道の支援・・・東北は近いので本を持っていきながら読んであげたい。度々したい。
- 藤田さん、金子さん・・・手作りの人形を100体贈った。
- 宮城県の支援グループ・・・紙芝居、紙芝居舞台を贈り、実演してきた。
- 沖縄地域児童文庫連絡協議会・・・義援金、絵本、紙芝居、おもちゃを贈る準備をしている。

様々な被災地支援をする団体がありますが、ここでは親地連の会員の活動を取り上げました。

また、被災地では、次の会が生まれています。

「みやぎ子どもの文化を支援する会」

みやぎ親子読書をすすめる会・みやぎ民話の会・紙芝居文化の会みやぎ・語り手たちの会みやぎ・仙台にもっと図書館をつくる会・仙台手をつなぐ文庫の会・こどものほんのみせボラン・宮城県県立保育専門学院同窓会早苗会

連絡先：事務局 伊藤俊子

TEL / FAX 022-243-1271

⑤ 大事なこと

被災地の子どもたちのことを考えたとき、やってもやっても支援が足りない喪失感に襲われる。

しかし、子どもたちは、少しずつ未来へ向かって歩き出している。

子どもたちの明るい笑顔と生きる力を見たいから、私たちは今後も継続して支援していきたい。

やまかわ きみこ：沖縄地域文庫連絡協議会

塗りはじめピッタリ!

NICHIBAN

「サンプル差し上げます!」
お電話又は FAX・E-mail で

新開発 上下に動く
スプリングヘッド

株式会社 **安木屋**

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志 1-1-14
電話 (098) 862-6117 (代表)
FAX (098) 869-3368
E-mail: service@yasukiya.com

外商部 安木屋 俊信

こだわりの使いやすさ
テープのり **tenori**
new

強粘着 パワー

TN-TEB 幅 8.4mm 長さ 16mm

TN-TEK 幅 8.4mm 長さ 10mm

つめ替え式
ACID FREE
エコマーク認定

ニチバン株式会社 〒112-8663 東京都文京区関口2-3-3
お客様相談室 ☎0120-377218 <http://www.nichiban.co.jp/>